



人とくるまのテクノロジー展 2024 NAGOYA

Automotive Engineering Exposition 2024 NAGOYA

Co-Create!

未来をともに創りだそう

人とくるまのテクノロジー展 2024 NAGOYA

Automotive Engineering Exposition 2024 NAGOYA

7/17 [WED] 18 [THU] 19 [FRI] Aichi Sky Expo
(愛知県国際展示場)

ONLINE STAGE 2 7/10 [WED] - 7/31 [WED]

公益社団法人自動車技術会 記者発表

13:15 開始



人とくるまのテクノロジー展 2024 NAGOYA
Automotive Engineering Exposition 2024 NAGOYA

Co-Create!

未来をともに創りだそう

人とくるまのテクノロジー展 2024 NAGOYA
Automotive Engineering Exposition 2024 NAGOYA

7/17 [WED] 18 [THU] 19 [FRI] Aichi Sky Expo
(愛知県国際展示場)

ONLINE STAGE 2 7/10 [WED] - 7/31 [WED]

公益社団法人自動車技術会 記者発表



- ・ **概要と主催者企画 説明**

本田技研工業株式会社

コーポレート戦略本部 経営企画統括部 環境企画部 発信企画推進課

展示会企画会議幹事 山本 一哉

- ・ **開催規模と出展社数 説明**

公益社団法人自動車技術会 展示会担当 後藤 正樹

- ・ **司会進行**

公益社団法人自動車技術会 展示会担当 矢野 久美子



人とくるまのテクノロジー展 2024
Automotive Engineering Exposition 2024

Co-Create!

未来をともに創りだそう

人とくるまのテクノロジー展 2024 YOKOHAMA
Automotive Engineering Exposition 2024 YOKOHAMA

5/22 [WED] 23 [THU] 24 [FRI] パシフィコ横浜

ONLINE
STAGE 1 5/15 [WED] - 6/5 [WED]

YOKOHAMA >>

人とくるまのテクノロジー展 2024 NAGOYA
Automotive Engineering Exposition 2024 NAGOYA

7/17 [WED] 18 [THU] 19 [FRI] Aichi Sky Expo
(愛知県国際展示場)

ONLINE
STAGE 2 7/10 [WED] - 7/31 [WED]

NAGOYA >>



Vision

技術者の魂を揺さぶる「場」であり続ける。

Mission

人と知をつなぎ、モビリティの未来を支える。

Statement

私たちは、自動車に関わるすべての人が知を共有し、

技を磨き、未来を熱く議論し合う「場」でありたい。

モビリティ技術は、絶えず進化を求められている。

暮らしを豊かにし、地球環境に負荷をかけない。そんな社会を実現するために。

あらゆる壁を越えた交流・共創・発信・育成を、

私たちは推進していく。スピーディーに、そして力強く。



人とくるまのテクノロジー展 2024 NAGOYA

Automotive Engineering Exposition 2024 NAGOYA

中部地区最大の自動車技術展

2024 NAGOYA 出展社

389 社 858 小間

(昨年比 76 社・214 小間増)

NAGOYA 展 初出展社 120 社

NAGOYA だけの企画多数



自動運転バス試乗体験



新技術搭載車両展示



各種講演

etc...

一般出展社のセミナーも多数実施



出展社セミナー



スタートアップ
プレゼンステージ

大手企業から
スタートアップ企業まで幅広い発表内容





人とくるまのテクノロジー展 2024 NAGOYA

Automotive Engineering Exposition 2024 NAGOYA





概 要

開催期間：7月17日（水）～7月19日（金）

内 容：一般出展社（389社）

JSAE企画展示

自動運転企画

新技術搭載車両展示

各種講演会

技術開発特別講演

2024年 主催者企画テーマ 横浜・名古屋共通

共通テーマ：英知を集結しよう！カーボンニュートラル、その先の循環型社会へ

【主旨】

私たちはいま、“The triple planetary crisis”という3つのリスク(気候変動、生物多様性喪失、資源浪費)に直面し、「地球は有限である」ということを再認識する時代に生きています。

ここ数年、日本をはじめとする多くの国・地域は**2050年カーボンニュートラル**を目指した取り組みを加速させるとともに、社会構造そのものの変革による持続可能な社会の実現を目指しています。そのカギとなるのは、「共創」と「循環」であると考えています。

これまでのような「資源の採掘～製造～廃棄」というリニア型から、“3R”「リデュース・リユース・リサイクル」に「リニューアブル」も加えた“4R”に代表される「循環」型社会システムへの変革が必要となっています。「循環」型社会システムの実現には、単に廃棄物をリサイクルすることではなく、私たち一人ひとりが、「つくる責任、つかう責任」の価値基準へと転換していくことも求められます。

“くるま”のライフサイクル全体を見ながら脱炭素化に向けた取り組みを進めるためには、**今まで当たり前だと思っていたことを疑い、新しい視点で物事を捉え、新しい仲間と「共創」してチャレンジすることが欠かせません。**

「人と地球を幸せにする技術とはなにか」を問い、新たなバリューチェーンを仲間と共に築きあげていく。“くるま”に携わる全ての皆さまの英知を集結する「場」として、「人とくるまのテクノロジー展2024」にお集まり頂ければ幸いです。

特集テーマ：「知恵・技・匠」で共創しバリューチェーン全体で循環型社会を実現しよう！

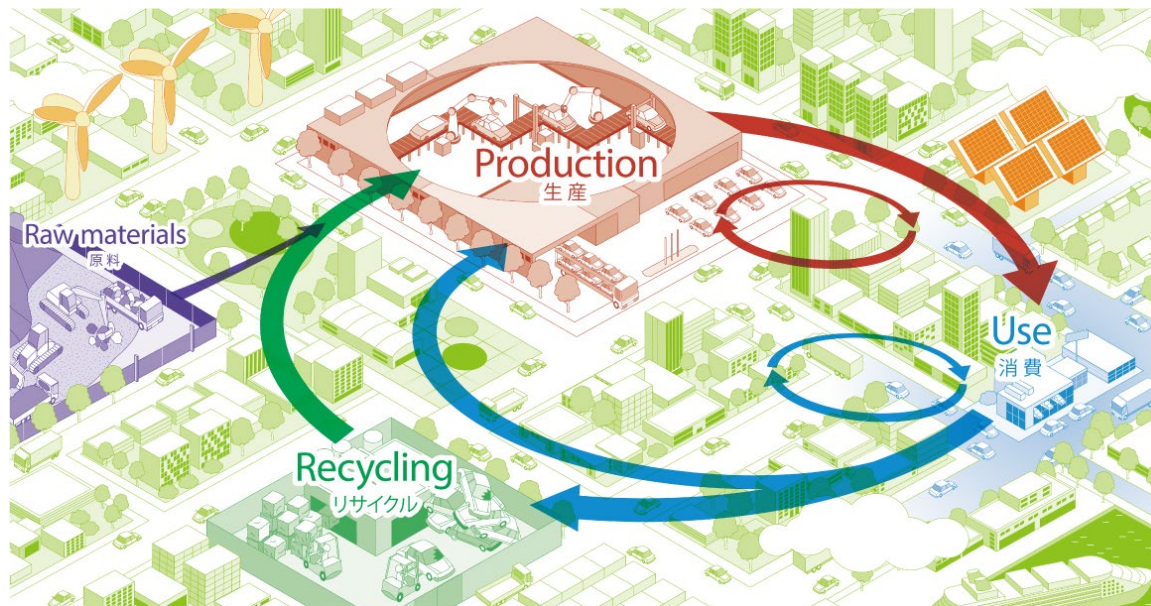
ここでは、自動車産業バリューチェーン全体での循環型社会の実現に向け、新しい仲間との共創を紹介します。「循環」をキーワードに、自動車ライフサイクルにおけるGHG算出、カーボンフットプリント削減や資源の再利用に対して有効となるトレーサビリティ、使用済みの車両から資源を回収・分別する静脈産業の技術も展示しています。ここ愛知県は自動車製造メーカー、Tier-1部品サプライヤーをはじめ、Tier-2・Tier-3・Tier-4・・・と自動車産業に携わる多くの企業に裾野を広げています。循環型社会の実現に向けて「知恵・技・匠」で皆さんと一緒に考える「場」の1つです。

ライフサイクル全体での製品カーボンフットプリント(CFP)を算出するためにはバリューチェーン全体での取り組みが必要です。ここでは、CFP算出システムやトレーサビリティ情報を付与したデジタルプロダクトパスポート(DPP)システムについて紹介します。

使用済みの製品を回収して再資源化するためには、回収した製品の分別技術が欠かせません。ここでは、プラスチックや金属の分別技術について紹介します。

JSAE企画展示

英知を集結しよう！カーボンニュートラル、その先の循環型社会へ



展示協力企業・団体（五十音順）

内山工業株式会社／静岡大学／ジャトコ株式会社／スズキ株式会社／ゼファー株式会社／株式会社ゼロボード／SOLIZE株式会社／株式会社TBM／株式会社デンソー／東レ株式会社／トヨタ自動車株式会社／トヨタ車体株式会社／豊田通商株式会社／株式会社本田技術研究所／マツダ株式会社／三菱電機株式会社／早稲田大学理工学術院 所千晴研究室

自動運転バス試乗体験

「産業首都あいちが生み出す近未来技術～自動運転」

最新技術を駆使したLevel2自動運転バスの試乗体験企画



自動運転バスが展示会場を周回します。

高精度な測位による車線維持制御や複数種類のセンシング技術による障害物認識機能をご体感ください。

受付人数：各枠 15名

JSAE個人会員：10名 (受付期間 6/3月 10:00～ 6/24日 10:00)

一般：5名 (受付期間 6/24日 10:00～ 7/16日 17:00)

企画協力 先進モビリティ株式会社



新技術搭載車両展示



ISUZU
GIGA



HINO
Fuel cell electric heavy-duty truck



HINO
N-MOBI



NISSAN
ARIYA



TOYOTA
CROWN "CROSSOVER"



TOYOTA
CROWN "SPORT"



MAZDA
MX-30 ROTARY-EV



MITSUBISHI MOTORS
TRITON



HONDA
N-VAN e:



HONDA
SC e: Concept



YAMAHA
ELOVE (AMSAS)



YAMAHA
MOTOR0iD2

各種講演会（ウェブ配信の詳細は別途）

■ 有識者による講演

JSAE企画講演

JSAE中部支部企画講演

JSAE企画講演

会議室 L3+L4 〈定員：約 300 名〉

テーマに沿った講演をお届けします。

7/17 WED 11:00-12:00

第五次循環基本計画と自動車関連施策の最近の動向について

令和6年夏頃の策定予定の第五次循環型社会形成推進基本計画の内容と自動車のライフサイクル全体での資源循環を促進するための国の施策の最新の動向を御紹介します。



環境省
環境再生・資源循環局総務課リサイクル推進室
室長補佐
湯山 桃子 氏

7/19 FRI 11:00-12:00

サーキュラーエコノミーを支える解体・分離技術プロセス開発戦略

サーキュラーエコノミーを実現するためには、現状よりも自在かつ省エネルギーな解体・分離を実現する必要があります。そのためには、革新的な技術やプロセスを開発すると共に、易解体設計を進める必要もあります。講演では自身の研究例もご紹介します。



早稲田大学・東京大学
理工学術院・大学院工学系研究科
教授
所 千晴 氏

JSAE中部支部企画講演

会議室 L1 / L3+L4

JSAE 中部支部による企画講演です。

7/17 WED 10:00-11:00

会議室 L1 〈定員：約 250 名〉

EVが気持ちよく活躍するモビリティシステムの開発

カーボンニュートラルに向けてEVの導入が進む中、EVが持つ本来の走りや空間提供能力を引き出す駆動システム、更には搭載電池やエネルギーの価値を最大限に活用できるインフラの提供が望まれています。本講演では、日立が推進する次世代駆動システムやマルチポートEVチャージャーなど関連技術の開発事例について紹介します。



株式会社日立製作所
研究開発グループ
主管研究員
中津 欣也 氏

※ 講演時間・会場が
変更になりました。

7/17 WED 16:00-17:00

会議室 L3+L4 〈定員：約 300 名〉

森林情報のDX化とCO₂ 吸着量について

森林情報のデジタル化は急速に進展しています。そのきっかけは航空機LiDARによる森林計測技術の進展ですが、最近ではUAVや高解像度衛星など様々な計測技術も進展しています。それらの応用の一つがCO₂ 吸着量推定ですが、今回はそれに関わる森林情報のDX化の重要性と課題について話題提供させていただきます。



名古屋大学
大学院生命農学研究科
教授
山本 一清 氏

各種講演会（ウェブ配信の詳細は別途）

■ 有識者による講演

自動運転企画講演

自動運転企画講演

会議室 L3+L4 〈定員：約300名〉

自動運転をテーマにした企画講演です。

7/18 THU 11:00-12:00

モビリティ・イノベーション-自動運転の社会実装と未来

自動運転の社会実装によるモビリティ・イノベーションは、自動車産業への影響はもちろん、自動車や公共交通の在り方、街づくりなど、社会システムの変革を導くものと思われます。また、カーボンニュートラルや働き方改革への対応なども期待されます。これらの動向を紹介します。



東京大学
モビリティ・イノベーション連携研究機構長
生産技術研究所 次世代モビリティ研究センター
教授
須田 義大氏

7/18 THU 13:30-14:30

自動運転がもたらす都市へのインパクト

移動におけるCASE革命の中でも自動運転技術のインパクトが最も大きいです。自動運転は縮小する地域公共交通をよみがえらせる可能性も、さらにマイカー依存を助長する可能性もあります。本講演では、自動運転が都市に与えるインパクトとその技術をより有効に活用するための社会的な備えについて述べます。



名古屋大学
未来社会創造機構モビリティ社会研究所
特任教授
森川 高行氏

7/18 THU 16:00-17:00

自動運転の推進とあいちデジタルアイランドプロジェクトについて

愛知県が県内3地域で推進している自動運転の社会実装を目指す取組や、中部国際空港島及び周辺地域において2030年に世の中での普及が見込まれる近未来の事業・サービスを先行して実用化することを目指す「あいちデジタルアイランドプロジェクト」について説明します。



愛知県庁
次世代産業室
室長補佐
上原 悦子氏

※ 講演者が変更になりました。



人とくるまのテクノロジー展 2024 NAGOYA

Automotive Engineering Exposition 2024 NAGOYA

JSAE中部支部研究発表会



7/18 THU

第1会場 / 会議室 L5 (定員: 約90名)

1		富山県立大学	大羽 優太 氏	電動車内騒音の広帯域音響制御技術に関する研究
2	シャシ/ボデー 10:15-11:25	三菱自動車工業株式会社	奈倉 健二 氏	ブレーキCAEによる車両開発
3		株式会社アイシン	脇田 陸 氏	セミアクティブサスペンションにおける翻訳機を応用した状態推定の検討
4	フリー 11:45-12:55	富山県立大学	小林 将 氏	CAEを活用した自動車用ホイールの動的性能設計手法
5		トヨタ紡織株式会社	塚本 健一 氏	人体熱モデルを用いたキャビン内熱マネにおけるシートヒータ開発
6		ヤマハ発動機株式会社	小関 泰子 氏	電動アシスト自転車のサドルの座り心地構造化
7	生産技術 要素技術 13:40-14:50	トヨタ車体株式会社	蟹江 誉将 氏	カーボン樹脂複合材を用いたFCセパレータ高生産性技術
8		トヨタ自動車日本株式会社	鹿内 康平 氏	上塗り1回縮し2トーン工法の開発
9		株式会社アドヴィックス	氏田 淳一 氏	高温時におけるμ低下要因の解析
10	環境 フリー CASE・MaaS 15:10-16:45	株式会社アドヴィックス	清水 貴之 氏	ディスクブレーキの引きずりトルク低減に関する考察
11		スズキ株式会社	遠藤 隆臣 氏	高耐衝撃性シルバーマテリアル材着樹脂の開発
12		静岡理科大学	五十嵐 洋太 氏	自動車走行時振動が乗員の生理学的反応に与える影響
13		株式会社ジェイテクト	仲出 知弘 氏	Pairdriver® 自動運転のためのハプティクスを活用した操舵協調制御フレームワーク

7/18 THU

第2会場 / 会議室 L6 (定員: 約90名)

1	要素技術 フリー 10:15-11:25	名古屋工業大学	吉村 有花理 氏	IEEE P802.1DGのユースケースを用いた車載EthernetにおけるATSCとCBSSのQoS評価
2		名古屋工業大学	小泉 舞歌 氏	Ethernetベースの車載ネットワークにおいて輻射がIEEE 802.1ASの時刻同期の精度に及ぼす影響の定量的評
3		名古屋工業大学	櫻井 佑真 氏	車載SDNの実装のためのP4による制御方式に関する一検討
4	エレクトロニクス フリー 11:45-12:55	富山県立大学	井上 達哉 氏	硬部と軟部を接合部レスでもつ生物由来形状ポリマーによる機械振動の低減
5		日本特殊陶業株式会社	近藤 智紀 氏	MEMS技術と新規ナノギャップ電極による高速応答ガスセンシングに関する研究
6		豊田合成株式会社	雲 純史 氏	発光/ミリ波透過インプレムの開発
7	パワートレイン 13:40-14:50	株式会社デンソー	曾我部 康浩 氏	噴流による水素エンジンの混合気均質性向上に関する研究
8		ヤマハ発動機株式会社	Saxena Kishal 氏	水素エンジンCAEの課題
9		ジャトコエンジニアリング株式会社	島田 勝 氏	流体解析を用いた油圧系異音メカニズム解明
10	パワートレイン フリー 安全 15:10-16:45	大同メタル工業株式会社	羽根田 祐磨 氏	エンジン用軸受寿命延長のための異種オーバーレイ組み合わせ
11		株式会社豊田中央研究所	熊井 葉子 氏	住民主体のコミュニティプレイス創成の支援法とその意義-名古屋市長寿圏住民を対象としたアクションリサーチ-
12		トヨタテクニカルディベロップメント株式会社	野口 翔太郎 氏	人中心の計測環境と機械学習を用いたデータ解析と効率化
13		トヨタ自動車株式会社	竹内 奈々 氏	シミュレーションを用いた衝突被害軽減ブレーキおよび車線逸脱警報機能による衝突回避効果の予測技術の開発



人とくるまのテクノロジー展 2024 NAGOYA

Automotive Engineering Exposition 2024 NAGOYA

技術開発特別講演

開発にかけた熱意、思い入れを語っていただく特別講演企画です。

オンライン
配信限定

7/16 TUE 10:00 - 7/19 FRI 23:59

16代目クラウン

新型クラウンでは、初代より脈々と受け継がれてきた「革新と挑戦」のスピリットを基盤に、お客様一人ひとりの価値観や多様化するニーズにお応えするモデルの開発を進めてきました。また「日本のクラウン」を「世界のクラウン」としてグローバルブランド展開にも挑戦。新しい時代のクラウンとして誕生した「クラウン群」について紹介します。



トヨタ自動車株式会社

Mid-size Vehicle Company

チーフエンジニア

清水 竜太郎 氏



最新情報は公式サイトをご確認ください。



■ **出展規模** **389社、858小間**（2023：313社、644小間）
そのほか、オンラインのみ出展が14社

■ **出展内容** **名古屋展初出展社 120社**
世界初の技術公開 5件
日本初の技術公開 3件

※6/26時点

■ **来場登録者数** **30,000名～想定**

その他企画のご案内

会期中に実施するその他の企画

- オープニングセレモニー：7月17日（水）9:40～10:00

DホールJSAE企画展示ブース前

※セレモニーに先立ち企画展示ブースのプレゼンテーションも実施

- フォーラムNAGOYA：会議棟
- 出展社セミナー：展示ホール内
- スタートアップ・アカデミアエリア：展示ホール内
- 学生フォーミュラ日本大会2024 PRコーナー：展示ホール内

来場登録のご案内



取材に関して

人とくるまのテクノロジー展 2024 NAGOYAの取材

- ・メディア登録は当日プレスルームにて行います。会場にお越しいただきましたら、必ずプレスルームにチェックインいただきますよう、宜しくお願い致します。
- ・会場内に Press／Mediaルーム を設けます。
- ・会期中にPress／Mediaルームで取材申請をお願いします。
- ・取材申請無しでの取材行為はご遠慮ください。
- ・なお事前のWeb申請は必要ありません。

【自動運転バス試乗体験 メディア特別枠】

7/17（水）午前中 実施

詳細は別途プレスリリースにてご案内

人とくるまのテクノロジー展 2024 ONLINE STAGE 2の取材

- ・ONLINEにPress／Mediaルームはありません。
- ・閲覧される際は、一般来場者と同様にWeb申請をお願いします。
- ・取材については、ONLINEブース内の問い合わせフォームをご利用ください。
- ・画面キャプチャを記事に使用される際には、必ず問い合わせフォームからお問合せ願います。

質疑応答